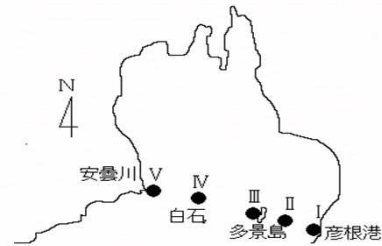


琵琶湖定点定期観測結果速報(令和5年11月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご注意ください。

調査年月日 令和5年11月14日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場地先における測定値)



調査地点図

調査結果

平均値 … 5地点の平均値

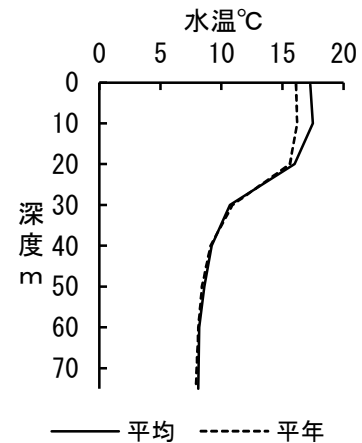
平年値 … 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値

DO(溶存酸素濃度)は2013年～2022年(平成25年～令和4年)の同時期調査の平均値

1. 透明度 11月平均値 6.4m 平年値 6.3m

2. 湖水温 (°C)

深度(m)	11月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	17.3	16.1	+1.2
10	17.5	16.2	+1.3
20	16.0	15.6	+0.4
30	10.7	10.9	-0.2
40	9.2	9.1	+0.1
50	8.6	8.4	+0.2
60	8.2	8.1	+0.1
75	8.1	7.9	+0.2



3. 湖岸水温 (°C)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
10月下旬	19.5	18.6	+0.9
11月上旬	18.9	16.9	+2.0
11月中旬	16.4	15.3	+1.1

4. プランクトン沈殿量 (ml/m³)

水層 (m)	11月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0~10	6.6	15.8	-9.2
10~20	3.8	5.0	-1.2
20~40	1.0	2.0	-1.0
40~75	0.8	0.5	+0.3

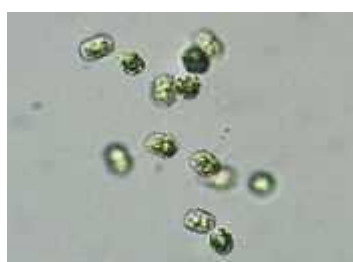
(プランクトンネットNXX14使用)

5. 表層のプランクトン優占種

○プランクトンネットNXX14による採集(植物:未固定 動物:5%中性ホルマリン固定)

植物プランクトンについては、全ての地点で*Cosmocladium constrictum*(コスモクラジウム:緑藻)が細胞数でも量的にも最も多く認められた。

動物プランクトンについては全ての地点でCyclopidae(ケンミジンコ科:カイアシ類)のものと思われるノープリウス期幼生が個体数で最も多く認められた。



Cosmocladium constrictum



ノープリウス期幼生

6. DO (溶存酸素濃度: mg/L) 多項目水質計による測定値。ただし平年値(参考値)はウインクラ法による測定値。

深度 (m)	11月平均値		平年値(参考値)		平年差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	9.2	95.5	9.6	101.4	-0.4	(-5.9)
10	9.1	95.5	9.5	100.2	-0.4	(-4.7)
20	9.0	94.5	9.3	97.7	-0.3	(-3.2)
30	7.3	65.9	7.4	70.1	-0.1	(-4.2)
75	3.7	31.4	4.5	38.9	-0.8	(-7.5)